

主催 お茶の水女子大学 学校臨床研究会
共催 お茶の水女子大学 特別教育研究経費
「コミュニケーション・システムの開発によるリスク社会への対応」
—Communication System Development Program—
協力 株式会社リクルート ワークス研究所 香港輔導教師協會

ミズーリ州・香港における包括的ガイダンスプログラム におけるスクールカウンセラーの役割 —子どものリスクをどう回避するか—



10月15日(木) 17:30~19:00

お茶の水女子大学 生活科学部本館 125

講演者

◆ Bragg Stanley 博士

ミズーリ大学コロンビア校にて教育行政で教育学博士を取得。1974年より高校教師及びカウンセラーであり、セントラルメソジスト大学で学部長の助手を務めた後、ミズーリ州初等中等教育局ガイダンス&プレースメント記局長に就任。

◆ Brian Lee 調査官

香港大学にて教育学修士を取得。香港教育局主席調査官。ガイダンス・ディシプリン部の責任者。ガイダンス・ディシプリン部では、生徒のガイダンスや規律に関する政策の見直しや実施を行っている。

■ コメンテーター

辰巳哲子(リクルート ワークス研究所キャリア教育チーム主任研究員)

伊藤亜矢子(お茶の水女子大学大学院准教授)

講演内容

米国と香港におけるSC養成や学校内での子ども達の支援を、行政の立場から行っておられるお二人の先生にSCの各国の実情、いじめや退学などのリスクへの対応についてお話いただきます。

プログラム

1. Bragg Stanley 講演 17:30-18:00
2. Brian Lee 講演 18:00-18:30
3. フリーディスカッション 18:30-19:00

使用言語 日本語・英語 (通訳 池田満)

参加費(資料代)¥500

申し込み・問い合わせ(当日参加可能)
お茶の水女子大学 学校臨床研究会
gakkou_rinsho @ yahoo.co.jp